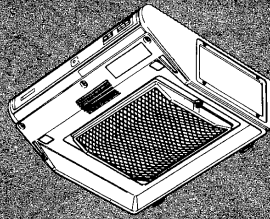


東芝レンジフードファン取扱説明書

形名 **VFR-36YM₁** (家庭用)



仕様

(50Hz・60Hz共用)

| 形名 | 電圧 (V) | 消費電力 (W) | | 静電圧 (m/h) | | 騒音 (ホン) | | 表径重量 (kg) |
|-----------------------|--------|----------|------|-----------|------|---------|------|-----------|
| | | 50Hz | 60Hz | 50Hz | 60Hz | 50Hz | 60Hz | |
| VFR-36YM ₁ | 100 | 50 | 73 | 660 | 654 | 40.5 | 48 | 11.0 |
| | | 50 | 40 | 390 | 360 | 37 | 35 | |

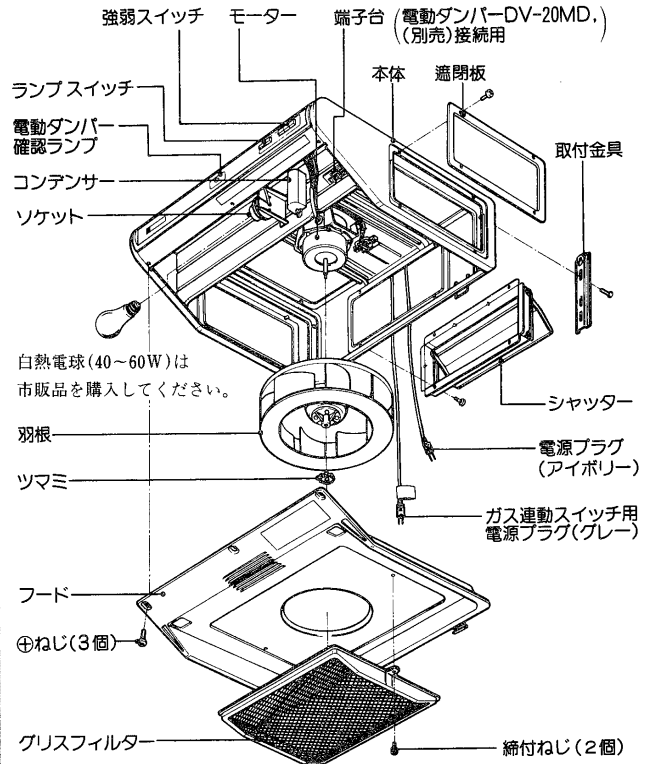
騒音・騒音の値はJISC1973の測定方法に準ずる。

●このたびは東芝レンジフードファンをお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。お客様のレンジフードファンを正しくお使いいただくために、お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになったあとは必ず保存してください。

●取扱説明書は販売店又は工事店から必ず受けとって保存してください。

先端技術をくらしの中に… **E&Eの東芝**

各部のなまえ

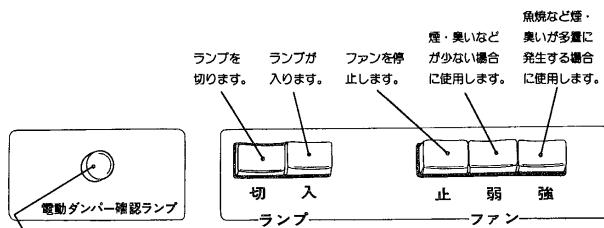


| 付属品 (別売品) | 1 | 2 | 3 | 4 |
|------------|----|---|--------|----|
| 木ねじ(本体固定用) | 2本 | 3 | ヒートン | 1本 |
| 鎖 | 1本 | 4 | ソフトテープ | 1本 |

1

使いかた

- 1 前面のスイッチでランプ(白熱電球)の「入」「切」およびファンの「強」「弱」の運転を行ないます。(ガスレンジ使用前にレンジフードファンを1~2分間運転しておきますと効果的な換気ができます。)



電動ダンパーが接続されているとき、ファンの「強」または「弱」の運転時に点灯し、電動ダンパーが開いていることを示します。

- 2 ●ガス湯沸器用換気扇連動装置との組み合わせ、および湯沸器の使用状態により強弱スイッチがつぎのようになります。

| 湯沸器 | 使用時 | 使用しないとき |
|---------------|---------------------------------|---------------------------------|
| ガス湯沸器用換気扇連動装置 | 強弱スイッチに関係なく「強」で運転 | レンジフードファンの強弱スイッチにより「強」「弱」「止」に切換 |
| なし | レンジフードファンの強弱スイッチにより「強」「弱」「止」に切換 | レンジフードファンの強弱スイッチにより「強」「弱」「止」に切換 |

●電源プラグとガス連動スイッチ用電源プラグを誤って差し込むと上記の正しいスイッチ動作をしなくなりますので注意してください。

ご注意とお願い

- 絶対にガスレンジはカラダキしないでください。ガスレンジに何もしないまま火をつけますとレンジフードファンの部品が傷み正常な動作をしないことがあります。
- レンジフードファンは風の影響を受けやすいので運転中はなるべく窓を閉めないでください。
- レンジフードファンに直接殺虫剤などのスプレーをふきつけないでください。変質・減損の原因となります。
- 料理中、湯きってフライパンなどの油が火がついた時はふたをするなどして火を消すと同時にレンジフードファンのスイッチ押鍵を押してください。ファンが回転しているで火の勢いがよけいに強くなり危険です。
- ガス湯沸器用換気扇連動装置と組み合わせるご使用のときは
 1. ガス事故を完全に防止するものではありません。ガス漏れには十分注意してください。
 2. ガス湯沸器のメインバーナーに点火してもレンジフードファンが「強」で運転しないときは、湯沸器の使用をやめて本体に表示の連絡先へご連絡ください。

お手入れのしかた

●お手入れをするまえには必ず電源を切ってください。
電源プラグをもって抜きます。
なお、電源プラグは2本あります。

●グリスフィルターの掃除(1年に3~4回)
1 締付ねじ2本をはずし、グリスフィルターをはずします。
2 グリスフィルター、締付ねじは中性洗剤をとかしたぬるま湯(約40℃)に浸しスポンジ又は、布で汚れを洗い落とし洗剤が残らないよう水洗いしてください。

●本体・フードの掃除(1年に3~4回)
1 ④ねじ3個をはずし、フードを引掛金具よりはずします。
2 本体とフードは中性洗剤を浸し、よくしぼった布で汚れを拭き落した後、洗剤が残らないよう十分拭きとってください。

●羽根の掃除(1年に3~4回)
1 ツマミを“ゆるむ”の方向(時計方向)に回し、はずしたのち羽根を下方に引いてはずします。
2 羽根、つまみは中性洗剤をとかしたぬるま湯(約40℃)に浸し、スポンジ、又は、布で汚れを洗い落とし洗剤が残らないよう水洗いしてください。

●お手入れが終わりましたら
1 組立ははずした逆の順序で組立ててから、正常に運転するかどうか次の項目を確かめてからご使用ください。
●つまみ、羽根、フード、グリスフィルターなどが本体に確実に取り付けられていること。
グリスフィルターの締付ねじはドライバーなどでつよく締め付けますと割れることがありますので、ゆるまないように手で確実に締め付けてください。
●異常な振動、騒音がないこと。
本体を壁面より取りはずされるときは、取付説明書に記載してある取付順序の逆で取りはずし掃除してください。

5

ご注意とお願い

●羽根のお手入れは手袋をはめてお手入れしてください。
手袋をはめないとかがをする恐れがあります。

●電源コードや電源プラグを点検してください。
電源コード、電源プラグをいたんだまま使いますと、やけど、感電、火災などの原因となります。

●本体及び本体内のモーター、スイッチなどの電気部品に水をかけることは絶対しないでください。
絶縁不良を起し感電の恐れがあります。

●プラスチック部品は、60℃以上の熱湯をかけたり、熱湯に浸したりしないでください。
変形、破損の原因となります。

●ガスレンジの上に熱いやかんなどをのせたままお手入れをすることはさけてください。
熱で部品を溶したとき火傷することがあり危険です。

●グリスフィルターの掃除の際にはあまり強く押すと変形することがありますのでご注意ください。

●点検

6

取り付けかた

1 取付説明書に記載してある注意事項、取付方法により付属品、別売部品を使用し取り付けます。
(取付説明書は販売店に準備しており、ますのでお問い合わせください。)

2 白熱電球は④ねじ3個をはずしフードを開けソケットに取り付けます。

3 電源プラグ(アイホリー)を単相100V(50/60Hz)コンセントに差し込んでください。

4 ガス連動スイッチ用電源プラグ(グレー)をガス湯沸器用換気扇連動装置へ差し込んでください。(単相100V50/60Hzであることをたしかめてください)

●ガス湯沸器用換気扇連動装置と併用する場合の取り付け工事は、ガス会社、メーカーによって連動装置の構造が異なりますので、ガス会社にご相談ください。
●電動ダンパー(吸気グリッド)に取り付けて使用(別売)の取り付けは取付説明書によりおこなってください。

●取付説明書に記載してある注意事項、取付方法をよくお読みください。

●取付部の強度を確かめてください。取付部が弱いと落下することがあり危険です。

●白熱電球は40~60Wを使用してください。60Wをこえすとソケットの温度が高くなり寿命が低下します。

●ガス湯沸器用換気扇連動装置を使わないときは、ガス連動スイッチ用電源プラグはどこにも接続しないでください。

●密閉度の高い住宅の台所では換気効果をそこなわないよう吸気口を必ず設けてください。

2

修理サービスについて

●ご使用中に異常が生じたときは、お使いになるのをやめ、差込みプラグをコンセントから抜いてお近くの東芝消費者ご相談センター、東芝家庭電器サービスステーションにご相談ください。なお、ご相談されるときは、レンジフードファンの形名VFR-36YM1およびお買いあげの時期をお忘れなくお知らせください。

●換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切後6年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
なお詳しくは、下記のご相談先にご相談ください。

●この換気扇に使用している部品は、性能向上などのために一部予告なしに変更することがあります。

●修理については下記のご相談先にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により修理いたします。

———ご相談先———

お近くの東芝消費者ご相談センター、東芝家庭電器サービスステーション。
なお、所在地は添付一覧表をご参照ください。

株式会社 東芝
家電機器事業部 ファン機器営業部
〒105 東京都港区芝浦1-1-1(東芝ビルディング)
TEL.(03)457-3830

| | |
|--------|-------|
| ご購入年月日 | 年 月 日 |
| ご購入店名 | TEL. |

●お客様へ…おぼえのため、ご購入年月日、ご購入店名を記入されると便利です。

A0129-2

VFR-36YM₁

